

2022 (令和4年)

事務所通信



I T A



税理士法人 岩本会計

(本店) 〒311-2425 茨城県潮来市あやめ 2-23-31 TEL 0299-63-0055

(東京中央オフィス) 〒104-0045 東京都中央区築地 6-1-8 4F TEL 03-6281-5455

～租税教育について～

今回は、税理士会が行っている活動の一部について紹介させていただきます。

税理士会では、税務署と協力して、将来を担う納税者（小・中・高生）を対象に、税について正しい理解を深めていただくための租税教室の開催を実施しております。税理士会の行う事業活動においても、「租税教育の推進」と位置付けられており、学校の授業に組み入れてもらい、我々税理士が各学校に訪問し、講義を行っています。



授業で勉強されたお子様、お孫様もおられるかと思えます。お子様等から、「今日、外部の先生が来て、税金について話をしていた授業があったよ。」と学校の様子の話を聞いた経験もあるかと思えます。親子等で話題に取り上げ、認識を深めてもらうことも重要かと思えます。

国税庁では夏休みを利用しての、中学生・高校生を対象に「税に関する作文」を募集しております。作文を通じて、税金に関心をもっていただき、税について正しい理解を深めていただくことが目的とされています。これから学校を通じて募集案内があると思えます。皆様方には、お子様等から、お話がありましたら、是非ご一緒に、税について話し合ってみてください。併せて、自己・自社の税金に関して見直してはいかがでしょうか。また、気になることがございましたら、当事務所に相談していただければと存じます。

国

担当 濱田

お疲れ様です。3月の確定申告から5月の決算と、パソコンを見ている時間が長くなり目の奥が痛かったり疲れを感じていました。そんな時、出会ったのがヘッドスパ。

ヘッドスパは単なるリラクゼーション効果だけではない！実は頭皮だけではなく、眼や顔、首にもいい効果を与えてくれるといいます。なぜなら、頭部は眼や肩などにつながった3つ（前頭・側頭・後頭）の筋肉で支えられているからです。目の疲れは、ちょうど耳の上あたりにある筋肉とつながっていて、そこが凝り固まることで眼精疲労がたまるし、逆にその筋肉の凝りをほぐしてあげると、血流がよくなって目の周りに溜まっている疲労物質が流れやすくなるそうです。眼と同様に、首や肩こり改善も期待できそうですね。

私が始めてみようと思ったきっかけなんですけど、シーズンスパってご存じですか？季節の変わり目や、気候によって起こりやすい症状に合わせた施術です。これからやってくる夏であれば、油分やべたつきをケアしてあげたり、ローズマリーのようなアロマを使って皮膚の環境を整えてあげるそうです。ローズマリーには抗菌作用や血行促進の作用があるんです。納得ですね。季節を意識したシーズンスパ。シーズンを通してこれからは楽しみます。

矢野 佳余子



6月は牛乳月間

国連食糧農業機関（FAO）は、牛乳に対する関心を高めると同時に、酪農・乳業の仕事を多くの方に知ってもらうことを目的として、6月1日を「世界牛乳の日（World Milk Day）」とすることを提唱し、日本でも、日本酪農乳業協会が2007年、上記に合わせる形で6月を「牛乳月間」、6月1日を「牛乳の日」と定めています。

皆さん、牛乳にまつわる大きな問題が生じていたのをご存知でしょうか？

2021年12月、農林水産省は「2021年の年末から2022年の年始にかけて、牛乳が大量に廃棄される恐れがある」と発表し、試算された廃棄量は、なんと5,000トン！一般社団法人Jミルクによると、廃棄量5,000トン＝約20万人分とのことでした。

そこで、農林水産省は牛乳の消費拡大に向けて「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」を開始し、芸能人と農林水産省の職員とのコラボや牛乳を使った和食「乳和食」の周知を推進していました。この大量廃棄問題は、岸田首相による異例の呼びかけもあり、各企業の取り組みや個人の意識の高まりが功を奏し、2022年1月、農林水産省は「牛乳消費が伸び、5,000トンの廃棄は回避できた」と発表されました。

しかし、毎年約4,700トンの牛乳が廃棄されているそうです。よく考えると、牛乳は子牛を産んだ乳牛からとるため、生産を容易にコントロールすることは難しいものです。そう思うと、無駄な廃棄などはないような生産管理を考えないといけないうちかもしれません。色々考えさせられる牛乳問題ですが、まずは牛乳消費で貢献してみたいかたがでしょうか。

